

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">平成24年6月29日</p>	
<p>愛知県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">愛知県豊橋市駅前大通2丁目28 東海漬物株式会社 代表取締役社長 大羽恭史</p> <p style="text-align: right;">提出者 住所 愛知県田原市豊島町字岩ノ根11 氏名 東海漬物(株)田原工場 工場長 長屋典久 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0531-22-4500</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	とうかいつけもの(かぶ)たはらこうじょう 東海漬物(株)田原工場
事業場の所在地	愛知県田原市豊島町字岩ノ根11
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	09:食料品(野菜漬物)製造業
事業の規模	製造品出荷額:432547万円
従業員数	133人
産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>漬物製造</p> <p>排水処理汚泥 当事業所内で脱水処理 再生処理業者に委託して肥料化</p> <p>植物性残渣 再生処理業者に委託して肥料化</p> <p>廃プラスチック類 分別し当事業所内で粉碎して再生処理業者に有償引取り</p> <p>有償引取りできない物は、再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化</p> <p>再資源化できない物は最終処分業者に委託して、焼却処分</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>本社 製造部</p> <p>↓</p> <p>田原工場長 (廃棄物処理総括責任者)</p> <p>↓</p> <p>管理課 (産業廃棄物処理責任者)</p> <p>↓</p> <p>環境班</p> <p>廃棄物処理計画の作成</p> <p>廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</p> <p>処理業者、再生使用業者の調査、委託契約の締結</p> <p>監督官庁への各種報告</p> <p>社員に対する削減、分別の教育・啓発</p> <p>排水処理場の運転管理</p> <p>汚泥脱水機の運転</p> <p>廃棄物の処理委託依頼</p> <p>マニフェスト交付・管理</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
現状	【前年度 (平成23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>廃プラスチック類を分別し、有償化、固化リサイクル、焼却処分の3つの処分方法を実施</p> <p>17年7月よりリサイクルを含め14種類の分別実施委託先での仕分け作業の軽減を図っています。</p>		
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
現状	【前年度（平成23年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	排出量	1,511 t	132 t	85 t
	(これまでに実施した取組)			
汚泥の発生源については、排水処理施設に汚泥減量槽を設け、酵素による余剰汚泥の減量を実施しています。また、バイオブースターシステムと呼ばれる電磁パルス発生機に処理原水を通す事によりBOD負荷を低減し、自己中間処理（脱水）に於いて高圧ベルトプレスを採用し、含水率75%の脱水汚泥を排出しています。				
計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	排出量	1,500 t	130 t	80 t
	(今後実施する予定の取組)			
廃プラに関しては購入資材の容器として発生する為、容器形態の変更及び通い容器への切り替えで発生を減少させていきます。				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
現状	【前年度（平成23年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)			
実施していません				
計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
実施予定はありません				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
現状	【前年度（平成23年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,380 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)				
排水処理施設から発生する余剰汚泥は社内で脱水処理し排出量の減量化を図っています				
計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,370 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)				
特にありません				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
現状	【前年度（平成23年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）			
実施していません				
計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）			
実施予定はありません				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
現状	【前年度（平成23年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	全処理委託量	131 t	132 t	85 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	131 t	132 t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
（これまでに実施した取組）				
汚泥、植物残渣は委託先で発酵処理、堆肥化再生しています。廃プラを固化リサイクルで製鉄の還元剤に利用				
計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物残渣	廃プラスチック
	全処理委託量	130 t	130 t	80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	130 t	130 t	68 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組）				
特にありません				